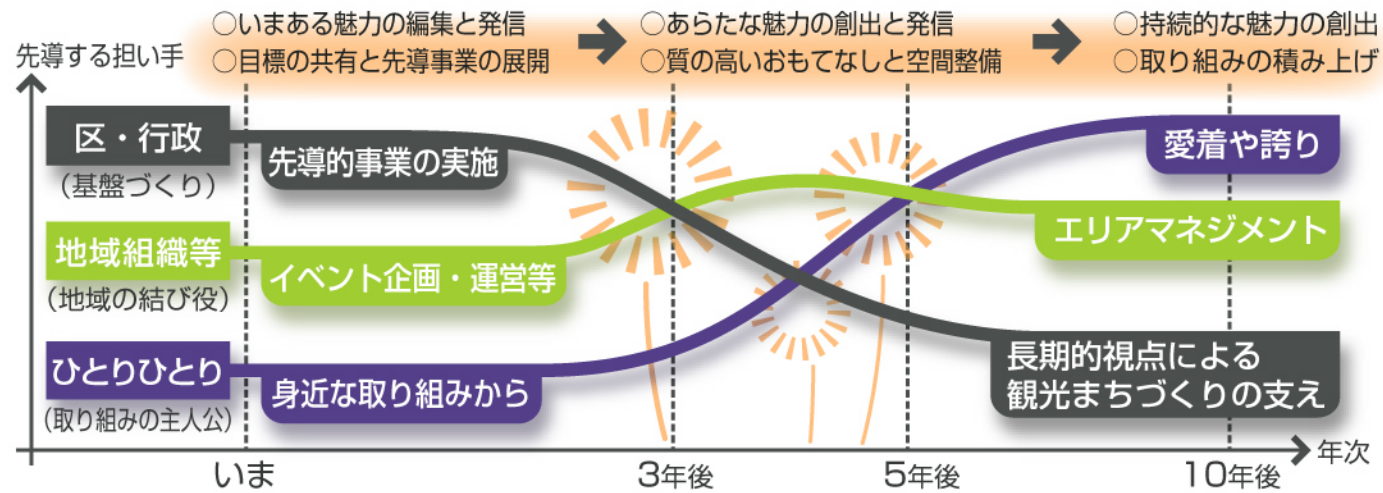


7 実現に向けて ～取り組みの積み上げ～

ひとりひとりが主人公の観光まちづくりへ ～観光まちづくりの進め方～

両国の観光まちづくりは、ソフト事業を中心に進め、必要なハード事業によって支える基盤づくりと、取り組みの主人公であるひとりひとり、そして地域組織等によるネットワーク体制により、取り組みを積み上げていく中長期を見据えたらせん型のスケジュールを進めます。

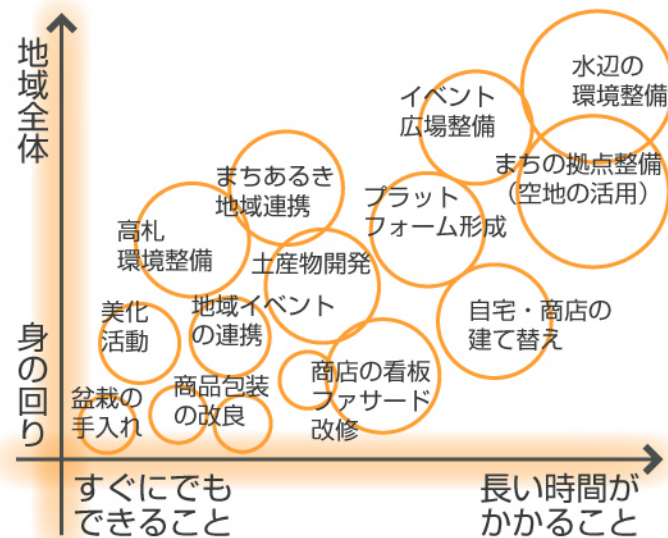


両国観光まちづくりの担い手

観光まちづくりの取り組みを持続的に積み上げていくためには、担い手の目標の共有、各事業への参画、新しい事業の提案が不可欠です。そこで、提案を受け入れ、取り組みを支える両国らしい柔軟な参加のしくみ、また取り組みを実現するための体制を検討します。

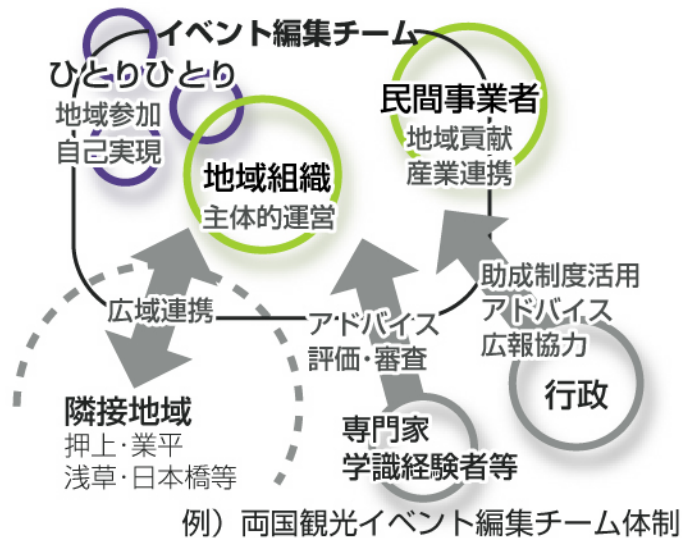
■多様な参画のエントランス

観光まちづくりには、今すぐひとりで始められる身近な取り組みから、時間をかけてじっくり取り組む事業まで、多様な取り組みがあり、協力や提案、参加、実践のエントランスもたくさんあります。



■しなやかで懐の深い編集チーム体制

地域の人々や事業者がそれぞれの得意分野、ノウハウを生かし、互いに成長し合い、より魅力的な取り組みに高めることができる、しなやかで懐の深い編集チーム体制を進めていきます。



8 区民意見と今後の取り組みの方向性

今後の取り組みに向けた区民等からの意見収集

本計画の策定にあたり、区民等から幅広く意見を寄せていただくために、パブリックコメント及び区民シンポジウムを開催しました。区民シンポジウムでは、「中間まとめ」の報告後、委員の方々をパネリストとして「両国観光の柱と両国らしさの発信」、「これからの両国の観光まちづくり」についてパネルディスカッションを行いました。また、参加者にアンケートを行いました。

■区民が考える両国観光の柱



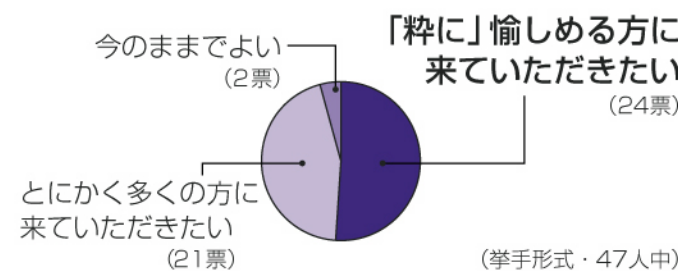
アンケート結果は「相撲」、「葛飾北斎」、「両国川開き」が上位を占めましたが、その他の資源についても両国観光の柱として捉えられていました。両国を訪れるきっかけ、また区民ひとりひとりの参画のきっかけとして、両国観光の柱を据え、華々しく発信します。

■区民が考える両国地域の魅力



アンケート結果から、江戸東京博物館、国技館といった駅周辺の集客施設から、まちに広がる資源まで、地域の様々な資源に愛着と誇りを持っていることがわかりました。駅周辺の集客施設から、まち全体に人の流れを創出するしくみ等、まち歩きを中心とした取り組みを積み上げていくことで、両国の多面的な魅力を発信します。

■区民が考える観光の規模とかたち



「粹に」愉しめる方に来ていただきたいという意見が過半数を占めました。粹に暮らし、粹に愉しむまちを目指し、両国にふさわしい観光まちづくりに取り組みます。

上記以外にも、区民のみなさまからたくさんのご意見アドバイスをいただきました。今後の地域展開や具体的な取り組みの検討の際に参考にさせていただきます。

※上記アンケート結果(回収数64件・複数回答可)は、区民シンポジウムで実施したアンケートに基づいています。

7 実現に向けて
取り組みの積み上げ

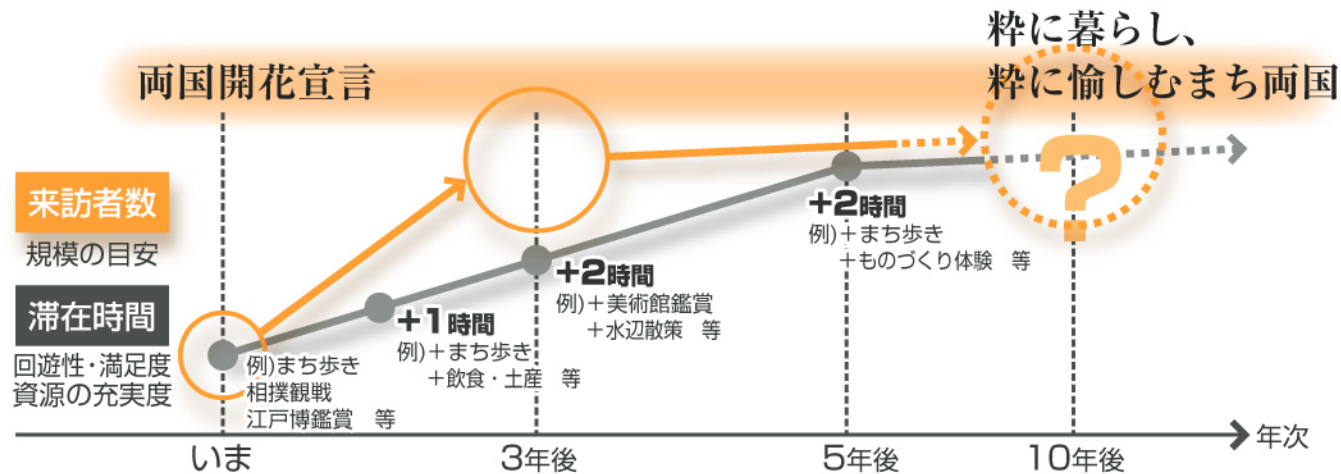
8 区民意見と今後の取り組みの方向性

9 両国観光まちづくりグランドデザインの目標

■ 両国観光まちづくりの到達目標

目に見えない取り組みの積み上げを、客観的数値によって示すことで、取り組みの成果を評価し、両国にふさわしい観光の規模、かたちを共有します。

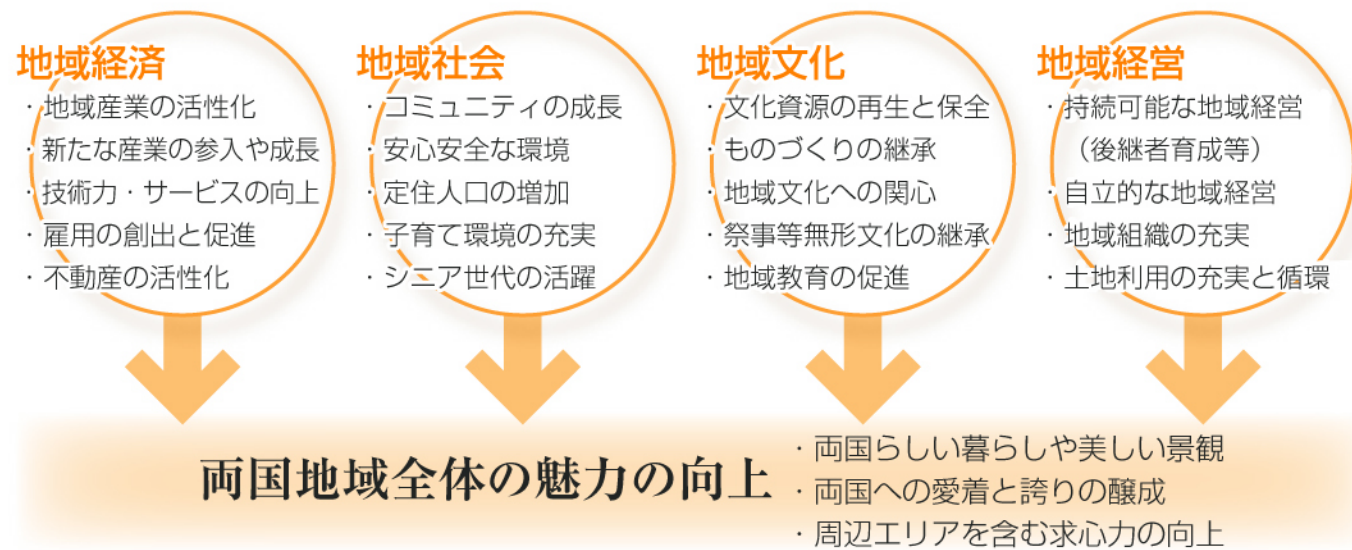
■ 両国にふさわしい観光の将来像



来訪者数や滞在時間といった客観的数値とともに、来訪者及び地域住民の満足度も観光まちづくりの重要な指標であると言えます。満足度の指標については、今後の取り組みの中で地域のみなさんとともに考えていきます。

■ 両国観光まちづくりグランドデザインの波及

両国観光まちづくりは、地域のみなさんの持続的なまちとの関わりにより、観光振興に留まらず、両国地域全体の魅力の向上につながります。



■ 検討体制

両国観光まちづくりグランドデザインの策定にあたり、観光、景観や歴史文化に詳しい学識者経験者、地元関係者、行政関係者によって構成された「両国観光まちづくりグランドデザイン策定検討委員会」を設置しました。

両国観光まちづくりグランドデザイン策定検討委員 (敬称略)

委員区分	専門	氏名	所属
学識経験者	観光	大下 茂 (委員長)	帝京大学経済学部観光経営学科長・教授
	景観	窪田 亜矢 (副委員長)	東京大学大学院工学系研究科 准教授
	歴史文化	小澤 弘	江戸東京博物館都市歴史研究室 室長
地元関係者	観光	阿部 貴明	一般社団法人墨田区観光協会 理事長
	まちづくり	市川 博保	両国連合まちづくり推進協議会 会長
	団体推薦	小林 俊介	北斎通りまちづくりの会 会長
行政	観光	大野 達	観光庁総務課企画室長
		北島 隆 (H25.3まで)	東京都産業労働局観光部振興課長
		山本 哲也 (H25.4から)	東京都産業労働局観光部振興課長

検討委員会開催日時

回	日時
1	平成24年10月16日 (火)
2	平成24年11月16日 (金)
3	平成25年 2月26日 (火)
4	平成25年 5月21日 (火)

■ パブリックコメントの実施

両国観光まちづくりグランドデザインの策定にあたり、区民の意見を反映するため、意見の募集を行いました。
 意見募集期間：平成25年3月25日 (月)～4月24日 (水)
 中間まとめ及び概要版を区のホームページに掲載するとともに、都市計画課窓口及び区民情報コーナーにおいて閲覧を実施しました。
 意見募集結果：4名 11件

■ 区民シンポジウムの実施

区民シンポジウムの開催概要は、以下のとおりです。

テーマ：みんなで考える両国の観光まちづくり
 ～両国観光まちづくりグランドデザイン～

日時：平成25年4月14日 (日) 13時～15時30分
 場所：第一ホテル両国「北斎」(墨田区横網1-6-1)
 参加者数：83名

コーディネーター：大下 茂 (検討委員会委員長)
 パネリスト：小澤 弘、阿部 貴明、市川 博保、小林 俊介、大野 達
 司会進行：小林 愛 (第13代すみだ親善大使) (敬称略)



区民シンポジウムの様子

両国観光まちづくりグランドデザイン
平成25年7月発行

編集・発行

墨田区 都市計画課/観光課

東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号 〒130-8640

電話 03-5608-1111 (代表)